

『くまの子ウーフ』

かんざわとしこ さく いのうえようすけ え  
神沢利子/作 井上洋介/絵 (ポプラ社) K913/かん

くまの子ウーフは、あそぶことがだいすきで、たべることがだいすきで、そしてかんがえることがだいすき。いろんなことに「どうして？」ってかんがえます。たとえば、「ウーフはおしっこでできてるか？」や、「いざというときってどんなとき？」など…。みじかいおはなしがいっぱいはいているから、気に入ったおはなしだけでもよんでみてね。



☆シリーズあり

なつやすみ  
ほんがいっぱい  
たのしいな

『いぬうえくんがやってきた』

きたやまようこ/作 (あかね書房) K913/きた

ぼくは、くまざわくまた。はらっぱで、いぬのいぬうえくんとであって、ともだちになった。ぼくたちは、ボールあそびをして、ひがくると、いっしょにかえた。ぼくのうちにつくと、いぬうえくんは、「ともだちはいっしょにいらしたほうがいい」といった。こんなふうにして、ぼくたちは、いっしょにいらすことになった。



☆シリーズあり

『ごきげんなすてご』

いとうひろし/さく (徳間書店) K913/イト

おかあさんは、おとうとばかりかわいがる。あたしのことなんかほったらかし。それならあたしは、すてごになろう。すてきなうちに、もらわれるんだ！ いえでしたおんなのこと、すてごなまのどうぶつたちが、だいかつやくするたのしいおはなし。

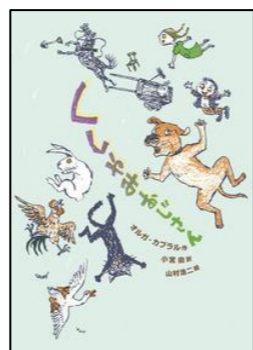


☆シリーズあり

『くしゃみおじさん』

オルガ・カブラル/作 小宮由/訳 山村浩二/絵  
いかなみしよてん さく こみやゆう やく やまむらこうじ え  
(岩波書店) K933/か7

ヒヤツツクション！ ハツツクチン！ ハツツプショーイ！ 荷馬車にのっていたおじさんが、犬や猫、男の子など、みんなへてこなかつたようになってしまって…。いったい、どうしたら、もどおりになるのでしょうか？



『はじめてのキャンプ』

はやしあきこ さく ぶくいんかんしよてん  
林明子/さく・え (福音館書店) K913/ハヤ

なほちゃんは、ちいちゃいおんなのこです。おとなりのともおばさんのうちへあそびにゆくと、ともおばさんは、おおきいこどもたちとキャンプのおはなしをしています。なほちゃんは「わたしもいく！」といいますが、おおきいこに「ちっちゃいこは、おもいにもつをはこべないし、すぐなくし、くらいところをこわがるから、だめ！」といわれてしまいます。



『犬のハナコのおいしゃさん』

いまにしのりこ ぶん はまだかずお しゃしん うえいぶしゆばん  
今西乃子/文 浜田一男/写真 (WAVE出版) K649

わたしは、犬のハナコ。飼い主の「ヒロシ先生」とくらして、もう10年。ヒロシ先生は町の動物のおいしゃさんです。先生は1日、3の頭をこえる犬や猫を治療します。10年前、わたしも、ヒロシ先生に命をすくってもらった犬でした。でも、命をたすけてほしい飼い主さんばかりが、先生のところにくるわけではありませんでした。



『ナージャの5つのがっこう』

キリーロバ・ナージャ/ぶん 市原淳/え  
だいにっばんとしよ  
(大日本図書) K376

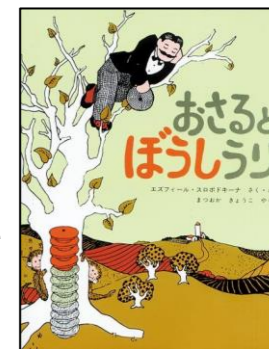
きょうしつ、もっていくもの、せんせい、クラスメイト、じゅぎょうのやりかた…。なんで「かいがい」のがっこうって、こんなにちがうの？ てんこうせいナージャがたいけんした5つのくにの5つのがっこう。さあ、ナージャといっしょにがっこうのたびに、しゅっぱーつ！



『おさるとぼうしうり』

エズフィール・スロポドキーナ/さく・え  
まつおかきようこ/やく (福音館書店) E/マ

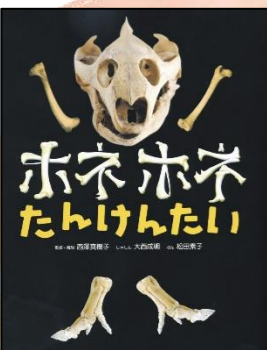
むかし、あたまのうえにぼうしをのせてうりあるく、ぼうしうりがいました。あるひ、ぼうしうりは、ぼうしをのせたまま、きのしたでねむりこんでしまいました。めがさめると、きのうえのおさがが、ぼうしうりのぼうしをかぶっていて！



『ホネホネたんけんたい』

にしざわまきこ かんしゆう かいせつ おおにしなるあき  
西澤真樹子/監修・解説 大西成明/しゃしん  
まつだもとこ  
松田素子/ぶん (アリス館) K481

くねくねぐにやぐにやわらかくても、ちゃんとしっぽのさきまでホネがあるへびや、やわらかな体をまもるため、かたいこうらをもっているカメなど、いろいろなどぶつホネを見てみましょう。ホネのふしぎやひみつがわかります。



☆シリーズあり

『おともださにナリマ小』

たかどのほうこ/作 にしむらあつこ/絵  
(フレーベル館) K913/たか

いちねんせいになったばかりのハルオ。ある日、学校にへんてこな手紙が届きます。「おともださにナリマ小」って、書いてあります。いったい、どんな意味でしょう？ だれが書いたのでしょうか？ じつは、ハルオだけが、そのわけを知っていました。



『あめだま』

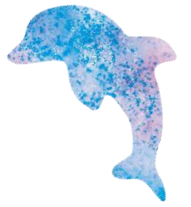
ペクヒナ/作 長谷川義史/訳  
(ブロンズ新社) E/ア

ドンドン、あるひ、おみせで、ふしぎなあめだまをてにいれた。ひとつたべてみると、とつぜんリビングからドンドンをよぶこえがきこえてきた。なんと、ソファーがしゃべっていたのだ！ もうひとつたべてみると、いぬのグスリがはなしはじめた。つぎにきこえてきたのは、いつもくちうるさいパパのこころのこえで…。





# ☆☆ きになる！つづきやシリーズがあるほん



## 『となりのせきのますだくん』

たけだ みほ さく え 武田美穂/作・絵 (ポプラ社) E/MX

ますだくんシリーズ

あたし、きょう、がっこうへいけないきがする。だって…。となりのせきのますだくんは、つくえにせんをひいて、ここからでたら「ぶつぞ」ってにらむの。あたしが、さんすうがにがてなこと、わらうの。きゅうしよくをのこすと、おおきなこえで「いけないだー」っていうの。やだな、やだな、やだなー。となりのせきのますだくんが、こわくてしかたないみほちゃんのおはなし。

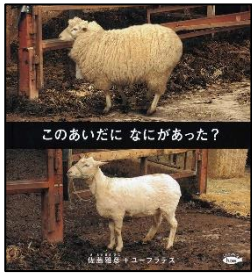


## 『ないしよのおともだち』

ビバリー・ド/フリオ/文 バーバラ・マクリントック/絵  
ふくもと ゆ み こ やく しゅっぽん 福本友美子/訳 (ほるぷ出版) E/YI

つづきのおはなし

むかし、おおきないえに、マリーというおんなのこがすんでいました。このいえのすみに、ちいさいいえがあって、ネズミのおんなのこがすんでいました。ふたりは、おなじいえにすむ、ないしよのおともだちでした。やがて、ふたりはおおきくなって…。



## 『このあいだになにがあった？』

さとうまさひこ さく ユーフラテス/作 (福音館書店) E/CO/

の つ い く ほ う  
knowing how  
かがえほんシリーズ  
『中をそうぞうしてみよ』  
『なにかがいる』もあるよ！

「けがもこもこのひつじ」と「みじかいけのひつじ」。2つのしゃしんのあいだには、いったい、どんなことがあったでしょう？ ならんだ2つのしゃしんから、あいだにあったことをかんがえるえほん。

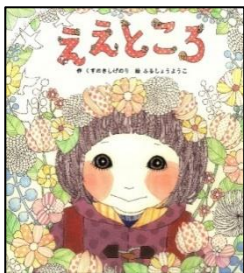
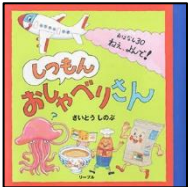
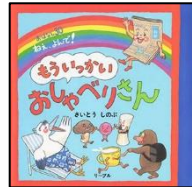


## 『おしゃべりさん』

さいとうしのぶ/作 (リーブル) K913/YI

「おはなし30ねえ、よんで！」  
のシリーズです。  
『もういっかいおしゃべりさん』  
『しつもんおしゃべりさん』

「おはようございまーす。わたし、ちょうかん。あさとどく、しんぶんでーす。わたしのとくいなことは、はやおきです。だれよりもはやおきして…。」ちょうかんが、ぺちゃくちゃ、おしゃべりしていると、まわりに、おしゃべりさんがあつまってきました。ふだんは、けっして、おしゃべりしない、どうぶつやおばけ、すいとうやランドセルが、とくべつにたくさんおしゃべりをしますよ。



## 『ええところ』

くすのきしげのり/作 ふるしようようこ/絵  
がっけんきょういっくしゅっぽん (学研教育出版) E/II

おなじシリーズのえほん

わたし、このごろおもうねん。わたしには、ええところなんかひとつもないってー。かえりみち、ともちゃんにそういうと、ともちゃんは「そんなことないよ」っていうてくれた。「それなら、わたしのええところ、おしえて！」っていうたら、ともちゃんは「えーっとなあ、えーっとなあ」とながいことかんがえて…。

